

2019 市議選、参院選 安倍強権・暴走政治を許さず、平和と暮らしを守る年に

全力でがんばります 日本共産党

2019年のスタートです。今年市議選と参院選が行われる年です。この2つの選挙で強権を振りかざし暴走政治を続ける安倍政権にNo!の審判を下しましょう。

安倍強権、消費税増税ストロン

安倍首相は、憲法9条改憲で日本を「武力行使できる国」につくり変えようとしています。

市民と野党の共闘の力で昨年は憲法審査会への改憲案提出を断念させましたが、2020年に新憲法制定という姿勢は崩れていません。

また、10月からの消費税増税は冷え込んでいる国民の暮らしを破壊するもので、絶対に許されません。

日本共産党は市民と野党共闘の力をさらに大きくし、安倍政権退陣のために頑張ります。

安倍暴走から市民生活を守る市政

さて本来、国の悪政の防波堤となり、住民の暮らしを守る役割を持つのが地方自治体です。しかし今、府中市では大規模事業優先、市民サービス後回しの市政が続けられています。



19市議選に挑む、左から服部ひとみ、竹内ゆう子、結城亮、赤野秀二の4人

市は殊更「財源不足」を強調し、市民サービス削減や負担増の理由としてきました。しかし実際は財源不足という状況にはなく、多くの市税を余らせ、三多摩トップクラスの642億円ものお金を貯め込んでいます。具体的には、

▼教育では、学校のドリル・ワークの全額保護者負担化。修学旅行費補助3年連続削減など。

▼一月から公民館などの公共施設が有料化。「活動ができなくなる」「ボランティアで市に貢献してきたのに理不尽だ」などの声がでています。

▼保育所待機児童は248人。26市3年連続ワースト1で市の責任が問われます。

一方で、
▼府中駅南口再開発事業などに310億円もの税金を投入し、さらに市庁舎建替えでは、当初150億円の計画が、豪華な庁舎計画となり、事業費も2000億円以上に膨らむ聖域扱いです。

このような市政を無批判に支えているのが、自民党市政会・公明党などオール与党会派です。日本共産党の4人の議員団は、オール与党勢力と厳しく対決し、議会論戦に取り組んでいます。この4議席まもるために、議員団団長として奮闘する赤野秀二の四選に皆さんのご支援をよろしくお願いします。

安倍暴走政治許さず平和と暮らしを守る国に、そして、三多摩トップクラスの財政力を市民生活最優先に生かす市政へ転換する年にしていきましょう。

何でも生活相談
はいつでもお受けしています

連絡先：市議会議員 赤野秀二事務所
042-358-0702(Tel/Fax)
s.akano@jcp-fuchu.com

新しい府中

2019年1月号外
日本共産党府中市委員会の見解を紹介します。
発行「新しい府中」社 府中市南町4丁目40